

教科	科目名	学年	単位数	必修 選択
家庭	家庭基礎	1	2	必修

到達目標	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。
-------------	--

年間スケジュール

期間	単元・項目名・実施内容など	受講に対してのアドバイスなど	備考
1学期中間	・家庭基礎を学ぶにあたって ・自分らしい人生をつくる	・生涯発達の視点から、家庭科を学ぶ意義を理解し、家族や家庭生活の在り方について考える。	・生涯を見通した人生と、青年期の課題を考える。
1学期期末	・子どもと共に育つ	・子どもの育つ力を理解する。 ・親となった時、子どもとどう関わり育んでいくかを考える。	・乳幼児の身体的、精神的特長を理解する。
2学期中間	・衣生活をつくる（被服実習） ・高齢社会を生きる ・共に生き、共に支える	・衣食に関する基礎的な技術を身につけ、知識や技術の定着を図る。 ・高齢者の身体的、精神的特長を知る。	・学んだことを家庭で実践し、生活を改善する。 ・高齢者や、社会環境の変化による課題を考える。
2学期期末	・食生活をつくる（調理実習）	・自立した生活を営むために必要な食の基礎的な知識を身につけ、知識や技術の定着を図る。	・知識に基づいた、基礎的な技術を身に付ける。
学年末	・住生活をつくる ・経済生活を営む ・生活を設計する	・家庭経済の現状、消費生活の課題を理解する。生涯を見通した家計管理や計画について考える。	・社会の変化に対応し主体的な消費者として選択できるようにする。

評価方法と評価のポイント	学期ごとの筆記テストで知識の定着、発表や実習で意欲・態度を、作品で技能・表現を評価する。グループでの協力、自己評価、プリント、課題等の提出状況も考慮する。
---------------------	---

教科からのアドバイス

教科で学んだことを家庭で予習・復習し、自分のものとする。特に被服や食物の実習は練習することで上達するので、予習・復習を心がける。日頃から生活を科学的な視点でとらえ、工夫するようにする。生活の中の課題を見つけ、充実するよう改善に取り組むこと。